

令和2年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	新政南アルプス 有野一成	1. 市長2期目後半の市政(まちづくり)の姿勢と方針について	(1) 来年度は、金丸市政2期目の後半に入る。市長は、市政(まちづくり)をどのような姿勢と方針に基づいて行くのか、所見は。
			(2) 令和3年度当初予算は、市民生活向上のため特に何に重点をおいて編成して行くのか、市長の見解は。
		2. 市民参画のまちづくりについて	(1) 南アルプス市も合併して15年以上が経過した。第2次総合計画でも引き続き、「協働のまちづくり」を提唱しているが、その現状は形骸化しているように思える。市は「協働のまちづくり」の現状をどのように捉えているのか。
			(2) 市民参画のまちづくりを進めていくためには、もうそろそろ自治体運営の基本原則を明確に定めた「自治基本条例」を制定する必要があると考えるが、市の所見は。

代表質問 通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	<p>躍進会 花輪幸長</p>	<p>1. 耕作放棄地の改善策としてオリーブ栽培の導入検討について</p>	<p>近年、オリーブ栽培が個人の段階で庭木や樹園地にも栽植され関心が高まっている。また、県補助事業も一部生産者に実施された。 従って、耕作放棄地対策として今後有望と思われる。 この為、オリーブの品種・栽培環境等を整理する必要性があることから、簡易な試験展示圃場を設置したと思うが、市の見解は。</p>
		<p>2. せん孔細菌病生育期防除費の助成について</p>	<p>市内の桃生産は近年減少傾向にあり、JA南アルプス市の実績では昨年比70%前後となっている。栽培者の高齢化もあるが、せん孔細菌病の影響も顕著である。従来の休眠期の助成は勿論であるが、生産安定に向けて生育期の防除費助成も前向きに検討する必要があると思うが、市の考えは。</p>
		<p>3. 住宅リフォーム等総合支援事業拡大について</p>	<p>過去の支援事業実績は高いと認識している。これは潜在的需要が大きいと推察される。コロナ禍の中、景気が低迷傾向にあることから支援枠を拡大し景気の下支えを図るべきと思うが、市の考えは。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
3	<p>公明党</p> <p>河野木綿子</p>	1. 子ども家庭総合支援拠点について	<p>令和2年9月議会代表質問で、「子ども家庭総合支援拠点」を来年度作る予定であり、明確に途切れのない支援事業として位置付け、虐待の関係や総合的な観点から設置するとの答弁だった。その具体的な人員配置や事業内容は。</p>
		2. 多胎児家庭への支援について	<p>令和2年3月議会一般質問で、多胎児家庭の支援を推進するよう訴えた。そこで、ファミリーサポートセンター事業及び一時預かり事業の利用料金の補助の考えは。</p>
		3. コロナ禍の maternitey ブルー及び産後うつ対策について	<p>コロナ禍における強いストレスが持続する中で、妊娠期や産後のストレスが何倍にも膨れ上がっているのではとの危機感が指摘されている。家事や育児への負担が増して、家事を満足に行えないと悲観的になり、うつ状態に陥るケースが多い。そこで、コロナ禍での相談体制の充実、及び家事・育児への生活支援への考えは。</p>
		4. 保育士の処遇改善について	<p>(1) 会計年度任用職員の制度が、本年度より開始された。臨時職員であった保育士への処遇改善につながるとの説明だったが、有給休暇の一部が無給になったとも聞いている。会計年度任用職員制度のメリットとデメリットは。</p> <p>(2) コロナ禍でも保育士は、エッセンシャルワーカーとして働いている。医療や介護関係者には国から慰労金が支給されたが、保育士には無い。本市として保育士への慰労金支給の考えは。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
3	公明党 河野木綿子	5. 若者世帯定住 支援奨励金事 業の拡充につ いて	<p>人口減少社会での若者支援策として本市の若者世帯定住支援奨励金事業は大変好評である。最近の傾向として晩婚化が進んでいるが、本事業の対象が、夫婦の合計年齢が満70歳以下（申請時点）となっている。新婚家庭の夫婦が住宅と土地を購入する予定で、合計年齢が70歳を少し超えており、対象外になってしまった。との声をいただいた。</p> <p>今後、対象年齢を引き上げて、定住促進を推進する考えは。</p>

令和2年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	南風 櫻田 力	1. 高尾地区への堆肥化施設建設計画について	(1) 高尾地区への堆肥化施設建設計画の許認可に関する山梨県と市の対応状況は。
			(2) 令和2年第3回定例会での堆肥化施設建設計画についての質問に対し、「民間の自由な経済活動である。現行法令に則した計画であり、県が許可権者であるため、市として計画を白紙に戻す権限はない」との答弁があったが、市の認識に変化はないか。
			(3) 8月に高尾地区に隣接する3自治会より市に対し、計画に反対する旨の陳情書が提出され、安全・安心な生活環境の確保や豊かな自然との共存を望む住民の強い思いが寄せられているが、市は地域住民の思いにどう応えようとしているのか。
		2. 主権者教育と生涯学習の在り方について	(1) 主権者教育と生涯学習の在り方についての市の見解は。
			(2) 主権者教育を生涯学習の一つと位置付けて、地域・学校・行政・議会が協働して主権者教育の充実と取り組む必要性を強く感じているが、市の考えは。

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
5	未来創政の会 矢崎俊秀	1. 令和3年度の行政経営方針や予算編成方針を踏まえた財政について	<p>令和3年度の南アルプス市行政経営方針や予算編成方針では、第2次総合計画に掲げる「魅力ある地域資源を活かした自立のまち」を実現するとした考えが示されている。一方、春先から猛威を振るう「新型コロナウイルス」の蔓延により、地域の産業経済や市民生活も大きく制限されて、先行き不透明な閉塞した日々にある。そして、コロナ感染拡大から1年が経過しようとしているが、いまだに解決の兆しは見えず、ウィズコロナと呼ばれるような「新たな生活様式」に対応していかなくてはならない。特に重症化しやすいお年寄りをはじめ、市民の不安は大きく、市にとっては合併以来の最大の問題となっている。このような状況の中で、本市の財政はコロナ禍の影響による大幅な歳入減を予測して、歳出拡大への注意喚起がなされている。そこで、これを踏まえた「自立したまち」の実現とは、どのような「まちづくり」を想定しているのか。</p>
		2. ウィズコロナのまちづくり（防疫都市）について	<p>既存の都市機能は、感染症等のパンデミックについて、診療崩壊をきたすなど市民生活や産業経済など、そのすべてにわたって適切に機能できないことが明らかになった。</p> <p>そこで、ウィズコロナの観点から、市民の命と暮らしを守り、日常生活の継続と産業経済（農業を含めて）を両立させた市民向けの「新たな生活様式」のガイドラインの必要性についてどのように考えているのか。</p>

令和2年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	<p>日本共産党 南アルプス市議団</p> <p>松野昇平</p>	<p>1. 新型コロナ対策について</p>	<p>(1) 新型コロナウイルス感染症が拡大し、自らが感染するリスクが高い環境で、心身に負担をかけながら子どもたちを預かっている放課後児童クラブ支援員や、感染拡大の防止に努めている保育施設の調理師にも慰労金の給付を行うべきであると考えているが、市の所見は。</p> <p>(2) 介護施設、障がい者施設、医療機関、保育所、学校などの機能を維持するためのPCR検査（社会的検査）の実施が必要と考えるが、市の所見は。</p> <p>(3) 医療現場では、混雑が予想される年末年始には、検温や誘導、防護服の着替えなどに追われながらの対応となり、独力でのコロナ感染防止対策には限界がある。年末年始にむけた地域医療対策について、市の所見は。</p> <p>(4) 年末年始は閉庁となるが、新型コロナウイルスの第3波のピークが見えない中、生活困窮などへの対応について、年末年始に向けて十分な対策を取る必要があるが、市の所見は。</p> <p>(5) 6月定例会において、市は「学校給食費の無償化の期間延長は、今後の状況を見極め判断をしていく」としている。感染が拡大している現在、給食費無償化を再度行うべきと考えるが、市の所見は。</p>

令和2年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
7	新政南アルプス 三木 充	1. 地域のブランド力を高めるために	(1) 南アルプス市国土強靱化地域計画を策定しているようだが、本市の道路、橋梁整備をどのように捉えながら折り込んでゆくのか。
			(2) 市内主要道路の交通量の調査を実施して、その量を把握したことがあるのか。
		2. 学校施設の長寿命化について	本市では、学校施設の長寿命化計画に基づき施設の改修を進めるとのことだが、今後の改修はどのようになっているのか。

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
8	新政南アルプス 村松三千雄		(2) 本件で開催される特産物販売交流は、県内の消費者を対象としていることから静岡産のみの販売であるが、中部横断自動車道全線開通を見据え、山梨・静岡県、さらには長野県までの来客を対象とした販売交流事業を提案するが、市の所見は。
		3. コミュニティバスのさらなる利用促進策について	超高齢化社会を迎え、免許証の自主返納などにより交通弱者が増加傾向にあることから、コミュニティバスは重要な役割を担っている。 そこで、持続可能なバス運行を構築していくために、ターゲットを絞ったアンケート等により市民の声を聴く中で、より便利で利用しやすい「市民バス」としての利用促進を進める必要があると考えるが、市の考えは。
		4. 運転免許証を自主返納する高齢者への支援策について	運転免許証を返納する高齢者が増加している中、ハンドル操作で運転する「電動車いす（通称：シニアカー）」の人気の高まっている。その理由として、免許証を返納したすぐ後なら運転する感覚が残っており、スムーズに操作ができると言われているが、シニアカーを購入するには約30万円必要となる。 そこで、高齢者の移動手段選択の拡大と自主返納者を増やすためにも、免許証を返納した人に、購入費やレンタル料への補助金の支援が必要と考えるが、市の所見は。

令和2年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

一般質問 通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
9	新政南アルプス 保坂 健	1. コミュニティ プラント跡地 の活用につい て	<p>市には5カ所の、コミュニティプラントと2カ所のフレックスプラントがあるが、フレックスプラントは2カ所共に平成20年と平成26年に広域下水道に接続され、コミュニティプラントも平成22年と平成26年に2カ所接続されているが、不要となったこれらの施設はどうするのか。</p>

令和2年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

一般質問 通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
10	<p>躍進会 野中国幹</p>	<p>1. 自殺防止対策 について</p>	<p>近年、うつ病患者や認知症患者が増加傾向となっている。このようなことがきっかけとなり、自殺志願者が増えていることも歪めない事実と感じている。こうしたことが一つの原因と思われるが、10月下旬に広域農道にある平田橋から自殺者が発生した。この橋から既に7名の自殺者及び自殺未遂者が発生している。悪評ともなる恐れもあり、これらのことを未然に防ぐ手立てとして、欄干等への防護柵の設置が必要と考えるが、市の見解は。</p>
		<p>2. 農地環境整備 事業について</p>	<p>現在、中野地区に県営事業である農地環境保全整備事業として、圃場整備が進められている。この事業に対して、本市としてはどのように関わっているか伺いたい。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
11	<p>躍進会 北村千代子</p>	<p>1. 児童相談所虐待対応ダイヤル「189」いちはやくの対応について</p>	<p>今まで有料であった利用者から児童相談所への電話通話料が令和元年12月3日から無料化になり、利便性の向上が図られている。この啓発を継続的に市民全体に広報して児童虐待の発生日防、早期発見のため、現在、市の体制はどうなっているのか。</p>
		<p>2. 新型コロナウイルス流行下の支援対策について</p>	<p>新型コロナウイルスの感染が拡大してきている今日、インフルエンザの流行期と重なり、市民は不安を感じている。一般市民に対して相談支援はどのようなになっているのか。</p>
		<p>3. 子宮頸がんの対策について</p>	<p>(1) 山梨県では来年度から子宮頸がんの精密検査受診率を上げるため医療機関と市町村間で検査結果を共有する仕組みを運用する方針を明らかにした。 本市においても子宮がん検診はそれぞれの医療機関で受診している。本人は医療機関から検診結果が通知され、対応している。今後、検診結果が医療機関と市と共有されることにより、十分な指導のもと精密検査の受診が行われると考えるが、本市の対応は。</p> <p>(2) 現在若い人の子宮頸がんが増えているといわれている。子宮頸がんは10年以上前から兆候が見られ、早期発見のためにも20代、30代の方々の検診が必要と考えるが、どのようにして若い方々に周知し検診を受けるように市としての方策は。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
11	<p>躍進会 北村千代子</p>		<p>(3) 子宮頸がん予防ワクチンについては、2013年に定期接種となったが、その後副作用問題が大きく取り上げられ国でも積極的に勧めていない。接種にあたっては有効性とリスクを理解したうえで受けてくださいと言っているが、市ではどのような対応をしているのか。また、今どのくらいの人が受けているのか。</p>

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
12	<p>公明党 齊藤博明</p>	<p>1. ユネスコエコパークの理念の再確認、及び南アルプスユネスコエコパーク関連事業の現状と将来展望について</p>	<p>(1) ユネスコエコパークが、優れた自然環境の永続的な保全、及び持続可能な利活用と発展を目指す取り組みであるならば、その理念の根幹には「環境教育」と「人材育成」が据えられなければならないと考える。 櫛形山の中心施設である「エコパ伊奈ヶ湖」の位置づけと今後の事業展開は。</p>
			<p>(2) 同じく、芦安地域の拠点施設である「芦安山岳館」の位置づけと今後の事業展開は。</p>
			<p>(3) ユネスコエコパークの登録地として、国際的社会貢献を明示していくことは、重要な使命と考える。 既存事業を精査する中で、SDGsの実践地域として表明していく考えは。</p>
		<p>2. 「投票のバリアフリー」の現状について</p>	<p>市内44カ所の投票所には、基本に据えるべき「物理的バリアフリー対策」が施されていない。 今回の市議会議員選挙も含め、投票所の運営状況は、市民に対し常に優しい対応であったのか。</p>

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
13	南風 三枝守和	1. コーセー工場の周辺整備について	<p>(1) コーセーの工場新設が計画されているが、工事の開始より生活道路と小学校の通学路に工事用車両の横行等が予想され住民の日常生活に大きな影響が出ることを懸念される。住民の安全・安心を確保するため、市はどのように対応する考えか。</p>
			<p>(2) 工場の新設により国内外からの人の往来や物資の運搬など高速道路を利用した移動が激しくなることが予想される。また、本市は北岳や南アルプスへの観光客誘致に対する積極的な姿勢を示している。物流と観光の活性化への期待を込め八田地区にスマートインターチェンジを設置することが必要と考えているが、市の考えは。</p>
		2. 白根5号線について	<p>(1) 平成28年に元市議会議員の浅野氏が「白根5号線」について質問を行い、「旧帝京山梨看護専門学校跡地から県道甲斐早川線までの早期完成を地域住民が強く望んでおり、市も今後の財政状況を考慮しながら整備する必要がある」との答弁があったが、その後の進捗状況は。</p>
			<p>(2) 上八田自治会は先の道路も考える中、特に旧バス通りの交差点が小学生の通学路となっており、児童の交通安全確保の上からも早急な整備が必要であると要望している。市の対応状況は。</p>

令和2年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
14	南風 藤田亜由未	1. ICT教育の導入に向けての整備状況について	(1) 新年度からのICT教育の導入に向けて、設備の設置や教職員の研修なども進んでいるとのことだが、その進捗状況は。
			(2) 授業への取り組み内容やタブレット端末を家庭へ持ち帰る場合の取り扱い等について、保護者への説明を十分に行い理解と協力を得る必要があると考えるが、何らかの対応を考えているか。
			(3) 市内すべての学校において、タブレットの充電・保管場所は確保され、適切な管理ができる状態を構築できるか。
		2. 学校評価アンケートの実施内容と活用方法について	(1) 毎年、保護者を対象に学校評価アンケートが実施されているが、このアンケートの実施の目的とアンケート結果の活用方法は。
			(2) 学校と家庭が更なる連携の強化を図るために、対応策などの意見を抽出できるような仕組みの導入が必要と考えるが、学校評価アンケートとは別の調査方法を取り入れる考えはないか。

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
15	<p>日本共産党 南アルプス市議団</p> <p>名取 泰</p>	1. 納税相談の対応について	<p>(1) 市議会9月定例会の代表質問で、納税の相談にあたっては、新型コロナ禍の下、徴収猶予や減免について説明をしていると答弁があった。しかし、その後も説明がされていない事例が見受けられる。これについての市の所見は。</p> <p>(2) 同質問で、差し押さえを含む徴収事務については、法令を順守して執行しているとの答弁であったが、その後も法令に反する対応が見受けられる。これについての市の所見は。</p> <p>(3) 生活苦から滞納になっている方については、生活の立て直しがなければ、滞納の解決にもつながらない。これまでも繰り返し指摘してきたが、市民が相談に訪れやすい環境を作ることをはじめ、生活再建を一緒に考える納税相談体制を構築することの重要性について、市の所見は。</p>
		2. 市の地球温暖化防止対策について	<p>(1) 本市は今年7月、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」に名を連ねた。また、今年2月には2024年までを計画期間とする第3次地球温暖化対策実行計画を策定した。これらについての市の考えは。</p>
			<p>(2) 第3次地球温暖化対策実行計画では、廃プラスチック類の焼却による二酸化炭素排出量が把握されていないなど、不十分な点がある。対象事業や対象施設を増やすなど、市全体を視野に入れた計画に発展させていくように、改善が求められていると考えるが、市の所見は。</p>

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
15	<p>日本共産党 南アルプス市議団</p> <p>名取 泰</p>	<p>3. 外来種水生植物の対策について</p>	<p>本市の東南湖地区の河川で外来種の「ホテイアオイ」とみられる水生植物が繁茂している状況が確認された。気温が高くなるほど成長し、河川管理施設に影響を及ぼし、枯れて異臭が発生するなど、全国的にも被害も報告されている。まずはホテイアオイであるかを特定するとともに、冬場のうちに撤去するなど対策が求められると考えるが、市の所見は。</p>

令和2年 南アルプス市議会 第4回定例会（12月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
16	小林敏徳	1. 旧完熟農園について	<p>(1) 11月27日の山梨日日新聞に「完熟農園コロナで停滞」という記事が掲載された。 9月の定例議会での答弁でも「コロナ禍の影響を踏まえて判断する。10月に募集を開始した場合を想定し、スケジュール概要を示した」との答弁であった。現時点では、どのような対応を考えているのか。</p> <p>(2) 地権者118名の内113名は土地の借地を合意したが、残りの5名の地権者との交渉結果はどうなっているのか。</p>